

中期経営計画 2022-2025

前半2か年の振り返り、2023年度の主な取り組み

前半2か年は、さまざまな環境変化の中でも着実に利益を創出するとともに、「新たな成長に向けた道筋を確立する」ためのアクションを遂行してきました。2024年度も、引き続き、さらなる成長に向けて道筋を固めることを目指し、東邦ガスグループ一丸となって各経営課題に取り組んでいきます。

	前半2か年取り組みの概要	2023年度の主な取り組み
01 カarbon ニュートラル の推進	● 熱需要の燃料転換やエネルギーの高度利用提案等を通じて、お客さま先の低・脱炭素化を推進しました。 ● また、将来のガス自体の脱炭素化を見据え、e-methane製造やCO₂分離回収・貯留・利用技術の開発など、サプライチェーン構築に必要なさまざまな取り組みの実証に着手し、社会実装に向け着実に前進させることができました。 ● さらに、水素利用や電気の低・脱炭素化に向けた取り組みも着実に進展しています。	● CN×Pサービスの拡充（GreenConnexなど） ● 海外でのe-methane製造の検討開始（北米、豪州等） ● CCSバリューチェーン構築に関する事業性調査の開始 ● CO₂分離回収実証試験の開始 ● CO₂コンクリート固定化技術を用いたカーボンリサイクルプロジェクトの開始 ● 再エネ電源取扱量12万kW など
02 エネルギー 事業者としての 進化	● 安全・安心、安定供給の維持とともに、お客さま数の拡大を進め、ガス・LPG・電気合計のお客さま数は、中計目標である300万件を達成しました。 ● また、シンガポールやベトナムにおいて事業を開始するなど、アジアを中心に海外のエネルギー事業を拡大させています。	● エネルギーのお客さま数 300万件（都市ガス・LPG・電気の合計延べ契約件数） ● 高圧幹線「南部幹線Ⅰ期（知多～半田）」の竣工 ● 海外エネルギー事業（シンガポール（天然ガス販売事業）、ベトナム（太陽光発電事業））への参画 など
03 多様な 価値の創造	● くらし・ビジネスのお役に立つ商品・サービスの開発と営業体制の見直しを両輪で進め、お客さまに多様な価値をワンストップで提供できる体制を整備してきました。 ● 保有資産・ノウハウの活用や、スタートアップ企業との共創等にも積極的に取り組み、社会課題解決や地域振興に貢献するとともに、事業領域を拡大しています。	● 「東邦ガスくらし」ブランドの新設 ● LNG冷熱を利用した知多クールサーモンの陸上養殖とふるさと納税返礼品への採用 ● 高機能バイオ炭の開発・製造等において㈱TOWINGと業務提携 など
04 SDGs達成 への貢献	● 複数の自治体との包括連携協定の締結（累計8自治体）や地域新電力会社の設立（累計5社）、生物多様性保全など、地域の社会課題解決に資する取り組みを着実に進めてきました。 ● 「東邦ガスグループ サステナビリティ方針」のもと、ダイバーシティ&インクルージョンや働きやすさの向上、安全・健康管理にも力を入れています。	● 自治体との包括連携協定締結（幸田町、名古屋市） ● 知多半島グリーンベルトが「自然共生サイト」の認証を取得 ● 柔軟な働き方の推進（服装自由化） ● 育児との両立支援（「プラチナくるみん認定」の取得） など